

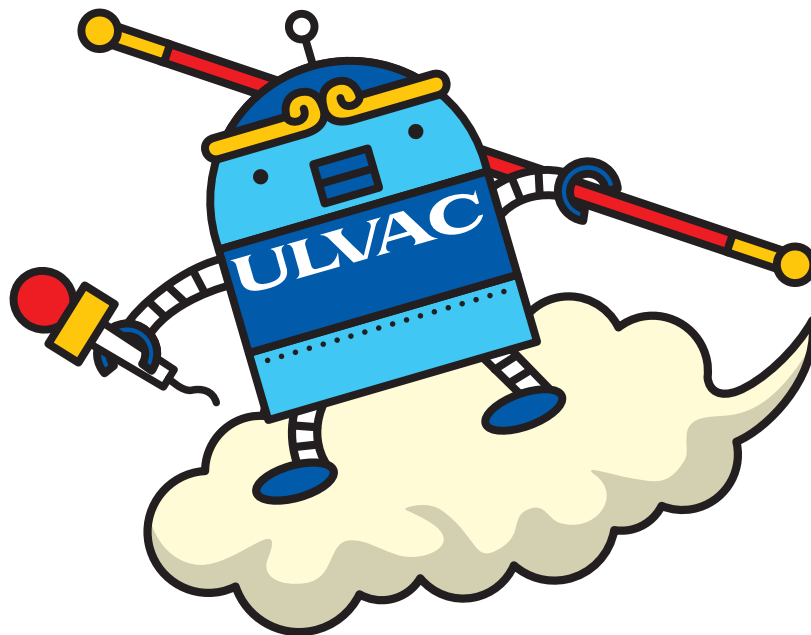
ULVAC REPORT

第106期 中間報告書

2009.7.1 ▶ 2009.12.31

特集

成長を続ける
中国市場と
アルバックの
事業展開



ULVAC

独創的な新製品・新技術の投入と 成長する地域への積極展開により 収益力の一層の強化を図ります。

代表取締役社長
諏訪 秀則



当中間期(当第2四半期連結累計期間)の経営環境は世界同時不況の影響を受けて厳しい状況で推移しましたが、各国政府の景気刺激策の効果によりフラットパネルディスプレイ(FPD)業界で新たな設備投資計画が浮上するなど、回復への兆しも見えてきました。また、エネルギー・環境関連では、太陽電池やハイブリッドカー・電気自動車などの環境対応車に加え、発光ダイオード(LED)、二次電池といった新たなエネルギー・デバイスの需要が増大してまいりました。

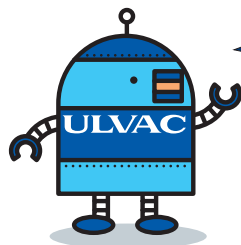
こうした経営環境のもと、アルバックグループは独創的な新製品・新技術の市場投入とアルバックソリューションズの取り組みによって受注の拡大を図りました。また、中国をはじめとする成長地域で積極的な事業展開を進めるとともにカスタマーズサポート事業やリサイクルビジネスに注力するなど「ポストFPD戦略」を推進いたしました。さらに、中長期成長戦略として既存のビジネスに加え「脱装置・脱真空」ビジネスを展開しております

が、その一つとして電気自動車向け太陽光発電・急速充電システムを製品化いたしました。なお、2010年1月には「ポストFPD戦略」のさらなる遂行に必要な資金を確保するため公募増資を行っています。

こうした取り組みの結果、当中間期の連結業績は、売上高922億79百万円(前年同期比14.6%減)、経常損失17億78百万円、四半期純損失12億27百万円となりましたが、2010年6月期(通期)は、売上高2,400億円、経常利益31億円、当期純利益11億円と、前期比で増収増益を見込んでいます。

アルバックグループは今後も、先端的な技術開発によって産業界の幅広いニーズに応えていくと同時に、成長市場でのビジネス拡大とグループ内垂直統合や内製化によるコスト低減策を通じて、持続的な成長と収益力の一層の強化を目指してまいります。

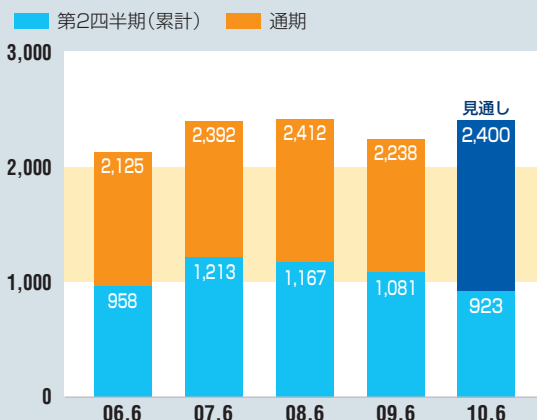
株主の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



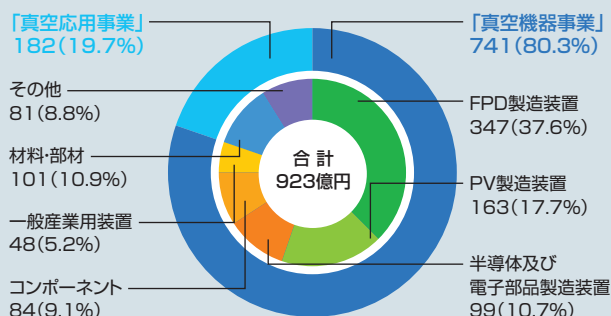
当第2四半期連結累計期間の業績ポイント

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高1,189億2百万円(前年同期比3.5%増)、売上高922億79百万円(同14.6%減)、経常損失17億78百万円、四半期純損失12億27百万円となりました。

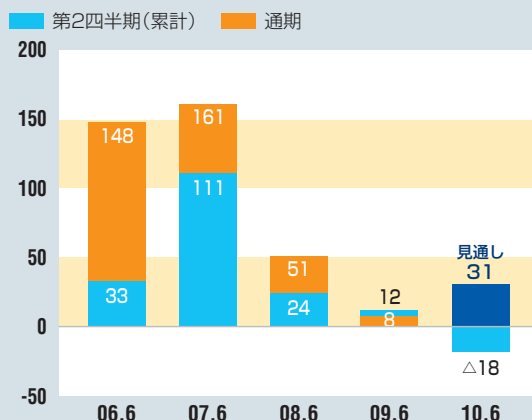
売上高 (単位: 億円)



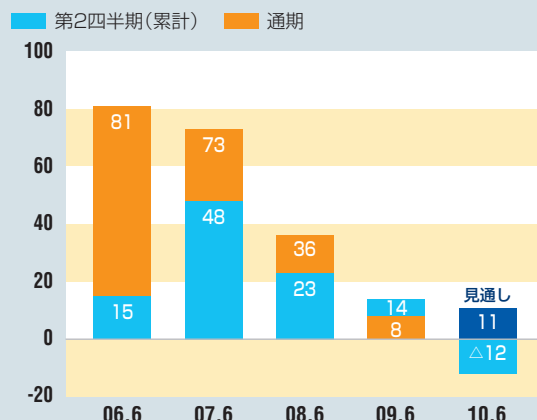
事業別売上高 (単位: 億円)



経常利益 (単位: 億円)



四半期(当期)純利益 (単位: 億円)



※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

※記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。





今回はボクが中国へ
レポートに行くよ！



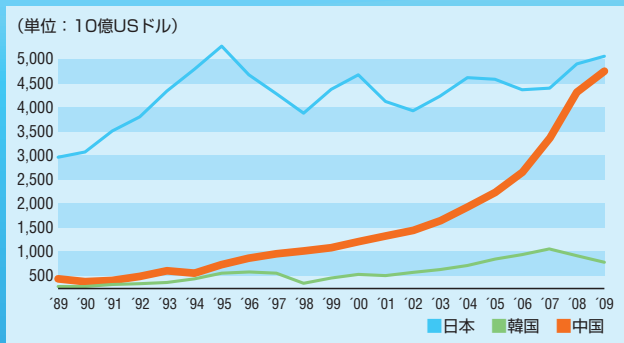
ULVAC CLOSE-UP

特集

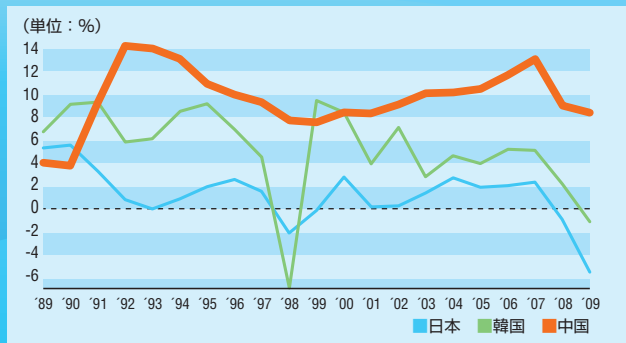
成長を続ける中国市場と アルバックの事業展開

中国には多くの外資系企業が進出していますが、その独特のビジネス習慣に直面し、
思うような事業展開ができないケースが多いようです。
では、アルバックはどうなのでしょうか？

■名目GDPの推移[日・韓・中]

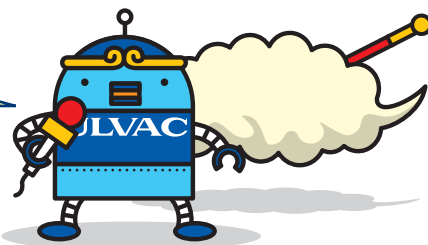


■実質経済成長率の推移[日・韓・中]



出典：IMF World Economic Outlook (2009/10)

アルバックはまだ規模が小さかったころから
中国市場の将来性に注目していたんだね！



1964年

中国に初めて合併会社設立

香港真空有限公司設立



アルバック初の海外法人。当社の真空技術に対する情熱が中国の人々に理解され、中国の真空技術発展の礎を築きました。

1983年

中国で販売開始

北京事務所設立



日本からの輸出増大と中国との関係強化のため、北京事務所を開設。駐在員の常駐により業務が拡大しました。

アルバックの
売上高

20億円
(単体)

479億円

516億円

897億円

1964年

1983年

1987年

1995年

中国の
主な出来事

1969年

国連常任理事国

1972年

日中国交正常化

1978年

改革開放政策

1997年

香港返還

1987年

中国で
サービス開始

上海CS※センター設立



製品ユーザーの増加に伴い、装置納入後のフォローを目的として設立。当時の中国ではサービス業務に対する理解度が低かったため、メンテナンスの重要性を広める役割も果たしました。

※CS：カスタマーズサポート

1995年

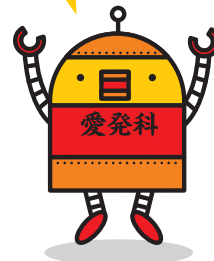
中国で生産開始

寧波愛発科真空技術
有限公司設立



中国市場に本格的な生産と販売・アフターサービスの拠点を築くことは、日本の真空業界で初めて。中国企業との合併で真空ポンプの生産を開始。

アルバックは中国
では“愛発科”と書
くんだよ！



中国ビジネスの特徴

Point
1

ローテクから ハイテクまで同時に成長

家電、自動車、PC、半導体、液晶、太陽電池
など、あらゆる産業分野に幅広く投資

Point
2

日本の常識は通用しない 『郷に入っては郷に従え』

自国の経営方法に固執しない。中国の商習慣に精通していないと事業の難航は必至

アルバックの
強みがいかされて
いるね!

アルバックの対応

Point
1

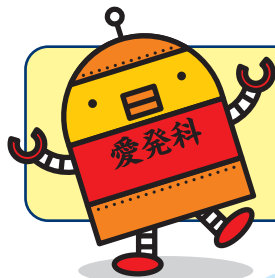
多彩な製品ラインナップ

●あらゆる産業の時代に即した製品と
ノウハウの提供が可能

Point
2

合併生産・現地経営

●合併方式で中国人に経営を委任
●中国の真空業界で生産・販売・アフター
サービスの3機能を持つ唯一の外資会社



中国アルバックグループは

16社、全社員数1,404名 (2009年
12月31日現在)
まで拡大!

● 合併会社 ● 独資会社 ● CS拠点

愛発科中北真空 (沈陽)有限公司

中国における真空炉などの
製造・販売、サービスを行っ
ています。

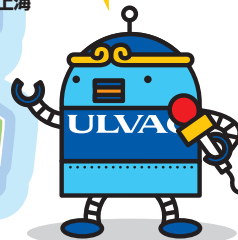


愛発科商貿 (上海)有限公司

中国でのアルバックグループ
の製品の販売とメンテナンス
サービスを行っています。

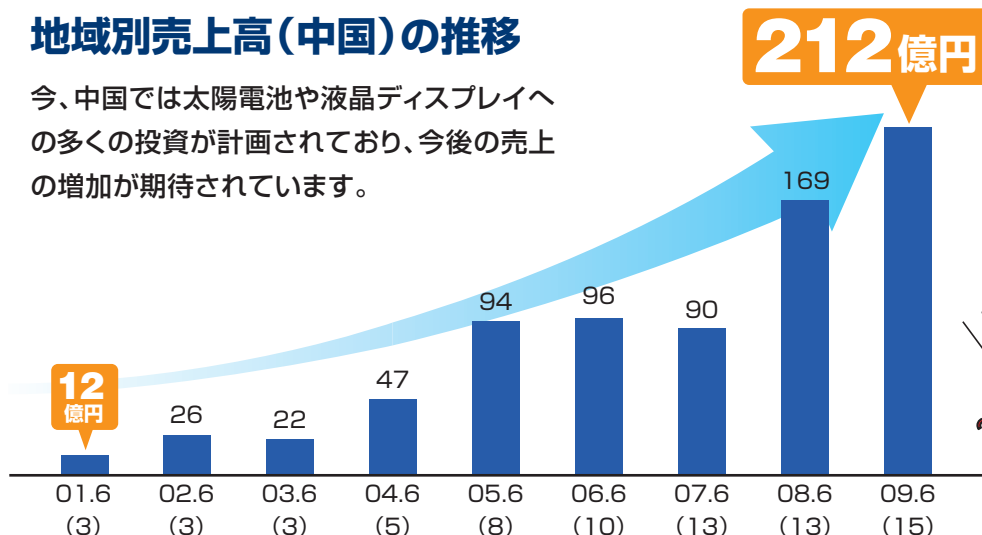


準備OK!
これからの成長が
楽しみだね!



地域別売上高(中国)の推移

今、中国では太陽電池や液晶ディスプレイへの多くの投資が計画されており、今後の売上の増加が期待されています。



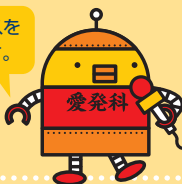
()=中国における現地法人数

今後の中国での
事業展開から
目が離せないね!



最新NEWS

最新ニュースを
お伝えします。



早くから中国市場の将来性に気付き、中国政府や『中国真空学会』との間で人間関係を培ってきたことが、中国における現在の事業成功の基礎となっています。

2009年11月27日に中国福建省で開催された『中国真空学会第7回全国会員大会』において、林主税(株式会社アルバック第3代社長)と香港真空有限公司 邵総経理が「中国真空学会設立30周年特別貢献賞」を受賞しました。

過去数十年にわたる中国の真空技術向上と、中国経済への貢献度の高さが評価されました。



表彰式後の記念撮影

左から中国真空学会理事長・中国科技大学 侯学長、
愛発科商貿(上海)有限公司北京分公司 帖佐総経理、
香港真空有限公司 邵総経理、
中国真空学会秘書長・清華大学 陳副学長

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	期 別 当第2四半期 連結会計期間末 2009年12月31日現在	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 2009年6月30日現在
(資産の部)		
流動資産	189,045	199,307
現金及び預金	23,430	22,985
受取手形及び売掛金	80,678	77,430
たな卸資産	74,193	86,219
繰延税金資産	6,534	5,965
その他	4,399	7,022
貸倒引当金	△188	△315
固定資産	116,938	118,769
有形固定資産	93,168	96,545
建物及び構築物	46,009	46,090
機械装置及び運搬具	24,462	25,902
その他	22,697	24,553
無形固定資産	4,454	3,828
投資その他の資産	19,316	18,396
投資有価証券	3,977	5,200
繰延税金資産	8,315	7,313
その他	7,024	5,882
資産合計	305,983	318,076

(単位：百万円)

科 目	期 別 当第2四半期 連結会計期間末 2009年12月31日現在	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 2009年6月30日現在
(負債の部)		
流動負債	143,460	151,753
支払手形及び買掛金	33,684	38,763
短期借入金	72,518	77,091
その他	37,259	35,899
固定負債	76,843	76,165
社債	200	200
新株予約権付社債	15,500	15,500
長期借入金	39,730	38,349
繰延税金負債	1	1
その他	21,413	22,114
負債合計	220,303	227,918
(純資産の部)		
株主資本	85,556	87,981
評価・換算差額等	△4,578	△3,860
少数株主持分	4,702	6,036
純資産合計	85,680	90,158
負債及び純資産合計	305,983	318,076

※記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第2四半期 連結累計期間 2009年7月1日から 2009年12月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2008年7月1日から 2008年12月31日まで
売上高		92,279	108,110
売上原価		76,744	85,933
売上総利益		15,535	22,176
販売費及び一般管理費		17,546	18,410
営業利益又は営業損失(△)		△2,011	3,766
営業外収益		1,527	978
営業外費用		1,294	3,577
経常利益又は経常損失(△)		△1,778	1,167
特別利益		123	173
特別損失		218	1,297
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)		△1,873	42
法人税、住民税及び事業税		922	1,995
法人税等調整額		△1,344	△3,010
少数株主損失(△)		△224	△381
四半期純利益 又は四半期純損失(△)		△1,227	1,439

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第2四半期 連結累計期間 2009年7月1日から 2009年12月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2008年7月1日から 2008年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		10,869	1,513
投資活動によるキャッシュ・フロー		△6,279	△8,996
財務活動によるキャッシュ・フロー		△2,209	14,308
現金及び現金同等物に係る 換算差額		7	△1,597
現金及び現金同等物の 増減額		2,389	5,228
現金及び現金同等物の期首残高		21,827	16,977
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額		211	1,187
連結子会社の決算期変更に伴う 現金及び現金同等物の減少額		△2,132	—
現金及び現金同等物の 四半期末残高		22,295	23,391

会社概要

2009年12月31日現在

商 号 株式会社アルバック
ULVAC,Inc.
商 標 ULVAC
本 社 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
設 立 1952年8月23日
資 本 金 13,467,797,500円
従 業 員 数 2,074名(連結7,115名)

役員

2009年12月31日現在

代表取締役会長 中村 久三
代表取締役社長 諏訪 秀則
専 務 取 締 役 山川 洋幸
専 務 取 締 役 常見 佳弘
専 務 取 締 役 砂賀 芳雄
取 締 役 藤山 潤樹
取 締 役 加藤 丈夫
取 締 役 佐藤 孔史
取 締 役 本吉 光
取 締 役 五戸 成史
取 締 役 末代 政輔
取 締 役 小田木秀幸
取 締 役 平野 裕之
取 締 役 山元 正年
取 締 役 中村 孝男
取 締 役 齋藤 一也
取締役(非常勤) 宇治原 潔
取締役(非常勤) 中野 佳信
監 査 役 大井 宣夫
監 査 役 待鳥 啓信
監査役(非常勤) 浅田 千秋
監査役(非常勤) 小宮路幸一
監査役(非常勤) 野中 孝男

株式の状況

2009年12月31日現在

発行可能株式総数 80,000,000株
発行済株式の総数 42,905,938株
株主数 23,771名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	3,602	8.39
TAIYO FUND,L.P.	2,604	6.07
株式会社三井住友銀行	1,864	4.35
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,820	4.24
株式会社みずほ銀行	1,604	3.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,560	3.64
アルバック持株会	1,244	2.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,069	2.49
稲畑産業株式会社	795	1.85
パナソニック株式会社	782	1.82

(注)持株比率は自己株式(2,782株)を控除して計算しております。

所有者別株主数

合計:23,771名

個人・その他 23,250名
その他国内法人 216名
外国法人 184名
金融機関 54名
証券会社 34名
外国個人 31名
政府・地方公共団体 1名

自己名義株式:1名

所有者別株式数

合計:42,905,938株

金融機関 14,984,020株
個人・その他 13,954,916株
外国法人 6,604,022株
その他国内法人 5,506,164株
証券会社 1,806,831株
外国個人 47,103株
政府・地方公共団体 100株

自己名義株式:2,782株

「脱装置・脱真空」ビジネスの本格化に向け、 太陽光発電設備と電気自動車用急速充電器を組み合わせた 太陽光発電・急速充電システムを開発・製品化。

2010年1月、アルバックは、太陽電池パネルによる発電設備と電気自動車(EV)用急速充電器を組み合わせたシステムを開発・製品化し、市営駐車場の太陽光発電・急速充電システムとして地元茅ヶ崎市より初受注しました。

太陽光発電設備は多目的発電システムに対応したもので、太陽電池パネル、パワーコンディショナ、電源設備、発電量管理モニタなどで構成されます。またEV用急速充電器では約25分間で80%の充電が可能となっています。

アルバックは、子会社である日本リライアンス株式会社と共同でこれら新システムの開発・製品化に取り組んできました。日本リライアンス株式会社が装置用電源の開発・製造を通じて培ってきたパワーコンディショナ(DC-AC電力変換機)製造技術と電気設計技術が新システムに投入されています。

アルバックはまた、茅ヶ崎市から受注したものとほぼ同じシステムを茅ヶ崎本社工場内に設置しました。今後はこのデモンストレーション用システムを利用し、「脱装置・脱真空」のビジネスを本格化していきます。



茅ヶ崎本社工場に設置された電気自動車とEV充電設備



左から諏訪秀則社長、服部信明茅ヶ崎市長、中村久三会長

株主メモ

事業年度 7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 9月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 6月30日
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(郵便物送付先) 中央三井信託銀行株式会社
証券代行部(証券代行事務センター)
(電話照会先) TEL.0120-78-2031(フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店
ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各
支店で行っております。

住所変更など諸手続のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました
株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株
式会社にお申し出ください。

(中央三井信託銀行への手続用紙<住所変更・買取請求・配当金振込指定など>のご請求)
フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付・自動音声案内)
ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社に
お申し出ください。

株券電子化実施後の配当金受取方法のお取扱いについて

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての
銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となっています。確実に配当金をお受取りいただくためにも、
これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。

HPのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、
当社をご理解いただくための様々な情報を
提供しております。

<http://www.ulvac.co.jp/>



株式会社アルバック

本社／工場
〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500
TEL. 0467-89-2033

東京事務所
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-3-1
TEL. 03-5218-5700